

制作の背景(制作者コメント)

地域防災計画データベース

地域防災計画とは、自治体が災害等への対応を計画するものです。一般的には、策定する自治体内で完結する内容となっているため、閲覧者は地域住民や立地企業などに限定されます。

本件企画者の経験では、自身の関わる自治体の地域防災計画を読むと、これが良い計画なのか否かを知りたくなり、近隣自治体を閲覧するところまでは根気が続くものの、全国となると情報量が膨大で手を付けづらいという事がありました。国で取りまとめしているデータベースは総務省消防庁の都道府県庁別の地域防災計画のみ見つけることができました。市町村単位ではまとめられたものがないため今回の構築に至りました。元となるデータがないため、都道府県庁と市町村役場のすべてのウェブサイトを開覧しました。地域防災計画が掲載されていない場合、無い事を確認するためにいくつかの手間を掛けました。

今回構築したデータベースでは類似都市との比較を意識し、人口を表示するようにしています。人口規模が似た都市を探すことで比較しやすい構造としました。人口は令和2年国勢調査を基にしています。

また、ハザードマップのリンクも付与しております。ハザードマップは国土交通省が所掌する事業ですが、こちらも都道府県や市区町村のリンク一覧などは見つからないため、独自にデータベースを構築しました。このマップリンクの付記により、どのような災害を想定して策定された地域防災計画であるかを評価する作業も円滑化される事を期待しています。

医療機器データベース

医療機器にはリスクに応じⅠ～Ⅳまでのクラス分類がされており、機器の用途や機能により4,000種以上の細かな定義分類がなされています。この分類された医療機器は『一般的名称』を寄せた一覧表がPMDA(医薬品医療機器総合機構)からExcelファイルとPDFファイルで提供されています。今回構築したデータベースはこの一般的名称を用いています。

当社でオリジナリティがあると考えて構築したデータベースは出荷量推計です。商品名毎の出荷数は統計データとして公表されていないため、株主通信などでときどき掲載される情報が頼りでした。そこで我々は、PMDAが発表する回収/改修情報に出荷期間と数量が記載されていることに着目し、この情報から出荷量を推定する方法を考え、その結果をデータベース化しました。3年分で2千件ほどのデータになりましたが、一般的名称で4千以上、JANコードで言えば100万アイテム以上がある医療機器において2千件は多い数字ではなく、統計データとして扱うには精緻性に欠ける事は理解しております。

回収/改修情報はPMDAのウェブサイトで見ることができますが、公開ページは年別かつクラス別になっており、一般的名称での検索には対応していません。添付文書は検索用のデータベースが用意されていますが、回収/改修情報は一覧表の掲載のみです。今回、一般的名称で検索できるようになったことは、一部の人にとって有益になると考えております。

PMDAの公式サイトで公表される回収/改修情報ですが、一般的名称の誤記が目立ちます。特に『クラス×処置セット』のようなⅢやⅣといった数字部分は厚生労働省の告示と異なるため検索してもヒットしません。こうした誤記は数十件ありましたが、我々のデータベースでは厚生労働省のクラス分類表に基づいて表示しているため、一般的名称が同じ物でリストアップする事が可能です。国民の健康に関わる情報ゆえに正確な情報提供が行われるよう我々も尽力して参りたいと思います。